

金沢大学 学術メディア創成センター 教員公募

1. 公募人員：特任准教授または特任助教 1名(令和9年3月31日まで)

2. 所 属：学術メディア創成センター

<https://www.emi.kanazawa-u.ac.jp/>

3. 専門分野（担当業務）：

本学は令和4年度に未来創成教育環を新設し、社会の中核的リーダーたる「金沢大学ブランド人材」の育成・輩出を重要ミッションに掲げるとともに、徹底した教学IRを推進しています。一方、学術メディア創成センターは、本学のDX推進のコア組織として、全学的なDXと学内ICTインフラならびに情報資産の安全・安心な利活用の推進業務に取り組んでいます。本公募は、未来創成教育環ならびに学術メディア創成センターにおいて、教学IRと全学DX推進に関わる以下の業務に携わっていただきます。

- ① 学生情報データを収集・分析し、データ間の関連を可視化・分析する（高度IR）。
- ② 全学的な教育DXの推進とそれに基づく学生のスキル教育
- ③ 学内における業務全般のDX化
- ④ 学内情報の安全・安心な管理と適正な利活用の推進

4. 教育担当：共通教育科目、大学院GS基盤科目、大学院GS発展科目

5. 担当科目：＜共通教育科目＞

データサイエンス基礎など、計算機・プログラミング・ICT技術関連（講義や実習講義）全学的な教育科目

＜大学院GS基盤科目、大学院GS発展科目＞

数理・データサイエンス・AI基盤、数理・データサイエンス・AI発展

※英語による講義を担当いただく場合があります。

6. 勤務形態等：任期付き常勤（令和9年3月31日まで）

任用中の各年度末に、職務内容に関わる活動について業務報告書を提出いただきます。

7. 給 与：年俸制が適用されます。

8. 応募資格：(1) 着任時に博士の学位を有する研究者

(2) 研究、教育に熱意を有し、産学連携等への積極性がある方

(3) データサイエンス、統計科学、教育工学、知能情報処理、ネットワーク・情報セキュリティ、計算科学、ソフトウェア工学、データ工学等の分野、あるいはそれらを活用した優れた研究業績を有する方

(4) 数理・データサイエンス/STEAM教育に積極的に貢献いただける方

(5) 日本語と英語による十分なコミュニケーション能力を備えている方

9. 着任時期：令和8年4月1日以降のできるだけ早い時期

10. 提出書類：下記の項目(1)-(5)については、下記URLに掲載されている「個人調書」に記入の上、郵送または電子メール（5MBまで。5MB以上はアップローダー等を利用）により応

募してください。(6)-(9)は別紙となります(書式任意)。

<https://www.emi.kanazawa-u.ac.jp/recruitment>

- (1) 履歴書(写真添付、郵便番号、現住所、連絡先[電話番号、メールアドレス]、大卒以降の学歴、学位、職歴、学会及び社会における活動、賞罰について記入)
該当箇所) I. 個人調書(但し、様式に欄のない電話番号はメールアドレスの下に記載)
- (2) 研究業績(査読付き研究論文(学術雑誌掲載のもの)、研究論文(国際会議プロシーディング、査読有無を記載)、著書、総説・解説、特許等に分類し、共著者名、発表機関、巻(号)、最初と最後のページ(論文番号)、発表年を含めて記載。申請者名に下線を付与。SCI expandedに含まれる雑誌は*(アスタリスク)を付け、Impact factorを記載)
該当箇所) II. 研究業績 1. 研究論文 - 6. 特許等、III. 研究活動・教育活動・学会及び社会的活動について 1. 研究活動について (1) 研究業績数
- (3) 学会及び社会における活動
該当箇所) III. 研究活動・教育活動・学会及び社会的活動について 3. 学会・社会活動(5年以内の状況)、大学・学域等(学部・学科を含む。)の委員会委員(5年以内の状況)
- (4) 科学研究費補助金、受託研究、共同研究、寄付金等の外部資金の獲得状況
該当箇所) IV. 外部資金の獲得状況について
- (5) 教育・研究に対する抱負(10ポイントで1,000字程度、A4用紙1ページ以内)
該当箇所) V. 教育・研究に対する抱負
- (6) これまでの研究活動及び教育活動とその状況(A4用紙1,500字程度)
- (7) 主要論文の別刷り(3~5編以内、コピー可)
- (8) 応募者に関して意見を伺える方2名の氏名及び連絡先
- (9) 着任を希望する職位(准教授または助教)

★ 上記全ての書類を、郵送または電子メールにより提出してください。

★ 郵送の場合は、上記全ての電子データ(pdf、wordファイル等)をCD-ROMやUSBメモリ等の記録メディアにコピーして同封してください。

★ 電子メールの場合は、送信データの総量が5MBまでとし、5MBを超える場合は、アップローダーなどを利用してください。

11. 応募締切：令和7年12月9日(火) 必着

12. 選考方法：書類選考の上、候補者に対し面接(プレゼンテーション、英語での模擬授業等)を行います。面接の旅費等は自己負担となります。選考及び面接結果については、本人に直接通知します。

13. 書類提出先：郵送の場合

〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学 学術メディア創成センター長宛

※ 封筒表面に「学術メディア創成センター 特任教員応募書類在中」と朱書きの上、簡易書留にて郵送してください。応募書類は返却しません。

メールの場合

E-mail: jyosui@adm.kanazawa-u.ac.jp

※ メールまたはアップローダーで送信する場合は、メールの件名を「学術メディア創成センター 特任教員応募書類送信」とし、アップローダーを利用した場合はそのURLを送信してください。メール送信後、2営業日経っても受領の返信がない場合は、「14.問い合わせ先」へお問い合わせください。

14. 問い合わせ先：〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学 学術メディア創成センター長 教授 笠原 禎也

E-mail: kasahara@staff.kanazawa-u.ac.jp

15. その他：

(1) 就業規則に関する規程については、下記URLをご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

(2) 金沢大学では、教員の英語による教授能力向上と、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育に取り組んでいます。詳細は下記URLをご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/sgu/kusgu/project.html>

(3) 金沢大学では、ダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。詳細は下記URLをご覧ください。

<https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

(4) 男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、学術メディア創成センターでは女性研究者の積極的な応募を歓迎します。